

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	インテリアデザイン論		
科目基礎情報							
科目番号	0154		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修: 1			
開設学科	建築学科		対象学年	3			
開設期	前期		週時間数	0			
教科書/教材	図解 ニッポン住宅建築—建築家の空間を読む (尾上亮介、竹内正明、小池志保子 (著) 学芸出版社 2008.02)						
担当教員	櫻木 耕史						
到達目標							
本授業では以下に示す点について達成し、インテリアを論理的に捉える視点を身に付ける							
①屋内空間の原理・概念に関する基礎知識を習得する							
②屋内空間の構造・創造に関する基礎知識を習得する							
③屋内空間の設計方法に関する基礎知識を習得する							
④建築作品、建築家に関する基礎知識を習得する							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	屋内空間の原理・概念に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。		屋内空間の原理・概念に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。		屋内空間の原理・概念に関する問題を解くことができない。		
評価項目2	屋内空間の構造・創造に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。		屋内空間の構造・創造に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。		屋内空間の構造・創造に関する問題を解くことができない。		
評価項目3	屋内空間の設計方法に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。		屋内空間の設計方法に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。		屋内空間の設計方法に関する問題を解くことができない。		
評価項目4	建築作品、建築家に関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。		建築作品、建築家に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。		建築作品、建築家に関する問題を解くことができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	建築の内部空間を主体として、インテリアデザインの理論を理解、学習する						
授業の進め方・方法	建築の内部空間を主体として、インテリアデザインの理論を理解、学習する 適宜作図やグループワークにより理解を深める						
注意点	より理解を深めるため、授業において提示した建築物、建築家に対して自ら積極的に調べ、学習する						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	総論				
		2週	外部に開かれた空間				
		3週	中庭のある室内空間				
		4週	外部環境への適応				
		5週	都市空間と屋内空間 1				
		6週	都市空間と屋内空間 2				
		7週	あいまいな境界をもつ屋内空間				
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	ヴォリュームと形態操作				
		10週	領域の分化				
		11週	人々の行動と屋内空間の関わり				
		12週	造形が特徴的な空間				
		13週	インテリアと家具 1				
		14週	インテリアと家具 2				
		15週	インテリアデザインの思想				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	200	0	0	0	0	0	200
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	200	0	0	0	0	0	200
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0